

### Ⅲ-7. 訓練と教育

大規模地震時は、日頃の地震対応の防災訓練や教育が役立ちます。

年度計画に地震対応訓練を設定して確実に定例の訓練を実施しておくことが必要です。

特に、設備が新設された場合や大幅な組織変更や人事異動があった場合には、その変更に伴う防災訓練を実施し、不備がないかを確認しておく必要があります。

#### 1 訓練

##### (1) 防災訓練の必要性

防災訓練は、災害を想定した場面を経験することによって防災意識を高め、非常時における実践的対応力を強化することに効果があります。防災訓練を行うことにより、災害対策の問題点を発見し改善しておくことも必要です。

##### (2) 防災訓練の種類

防災訓練には全社又は事業所全体で行う「総合防災訓練」（公設消防や共同防災組織を含める場合もある）と、参加者や目的を絞った「個別防災訓練」があります。また、実際に避難行動等の訓練を行う「実地避難訓練」や、架空のシナリオを想定して机上で行う「机上訓練」があります。これらの訓練は年間計画を立て頻繁に実施することで、組織全体の実践的な対応力を高めることが可能となります。

訓練の企画にあたっては、目的（各自の役割認識又は行動の習熟）を考え、目的に沿った訓練想定、対象者の選定を行います。

代表的な訓練の目的、想定、対象者を一覧にしたマトリックス表を訓練企画の参考としてください。

表は、まず「訓練マトリックス表」の縦軸の平日昼間想定か、夜間・休日想定かを選択し、横軸の訓練の種類を選択し、該当する①～⑥について、「訓練の目的、想定、対象者、訓練の概要及び留意点」を別表のとおり確認し、訓練を実施します。この場合、訓練シナリオを想定して実施することも重要です。

訓練マトリックス表

|       | 地震訓練 | 津波訓練   | 防災訓練   | 安否確認訓練 |
|-------|------|--------|--------|--------|
| 平日昼間  | ①    | ② 別紙-1 | ③ 別紙-2 |        |
| 夜間・休日 | ④    | ⑤      |        | ⑥      |

### (3) 訓練実施後の改善

各種訓練実施後には問題点・改善点等を関係者から意見収集し、必要な改善を精査し、計画的に改善を進めることが大切です。改善内容は出来る限りマニュアル・手順の修正や設備・装備の改善等に反映することを心掛け、その進捗を確実にフォローする体制づくりも大切です。そして、出来る限りそれらの改善内容が有効に機能するかどうかを次回以降の防災訓練等で確認することで継続的なPDCAを推進することができます。

## 2 教育

### (1) 教育の必要性

阪神・淡路大震災、中越地震やスマトラ沖大地震、そして2011年の東日本大震災等、被害の甚大な大規模地震が発生しました。また、南海トラフ地震、首都直下地震の発災が懸念されており、大規模地震に対する我々の防災意識は高まっています。

しかしこの意識は、年と共に風化してゆくものです。災害の記憶を新たにし、防災意識を高めるためには、従業員に地震のリスクについての教育を継続的に実施する必要があります。

また、いざ地震が起きたときに事業所のルールや自分の役割を理解してないとの確な対応ができません。そのための教育や訓練を日頃から繰り返し行う必要があります。

### (2) 教育実施の留意点

地震に関する基礎的な知識を教育します。例えば、地震発生メカニズム、大規模地震の被害の実態（津波、建物の倒壊、火災）、当事業所の被害予想とその対策、地震時の災害事例及びその対策等が考えられます。

発災時の対応（地震警戒宣言発令時も含む）を含んだ内容とした教育として、例えば、直後の安全確保の方法、避難方法、救援方法、緊急呼出し、出勤基準（自動参集基準）、緊急連絡システム、緊急備蓄品及び使用方法等が考えられます。

また、発災後の各人の果たすべき役割も教育することが必要です。例えば、緊急対策本部員の役割、一般従業員の役割、協力会社員の役割、製造設備緊急停止方法、安否確認方法等です。

以上を網羅した事業所の地震対応マニュアルは全従業員に熟知してもらう教育訓練が必要です。

## 3 記録

教育訓練の実施を第三者から見ても分かるように記録・保存することは、後日客観的な評価をする上で重要になります。

例えば、計画に基づいて実施した教育訓練記録は、必要なスキルを取得するのに適切だったかどうか、教育訓練の効果を得たかどうかの評価ができ、対象となる班や人の力量がどの程度アップしているかの判断が出来ます。

また、教育訓練後の反省会等で振り返り評価に活用され、次回の教育訓練計画に反映される等、PDCAサイクルが回ることによって、組織全体の力量アップにつながっていきます。

《チェックポイント》

・訓練

- 1. 防災訓練を計画的に実施しているか
- 2. 防災訓練は、訓練の目的を明確にした上で計画しているか
  - ・地震避難、津波避難、防災訓練/緊急呼出・安否確認等の訓練
  - ・防災組織の役割認識又は行動の習熟 等
- 3. 防災訓練は、訓練の対象者を明確にした上で計画しているか
  - ・防災訓練、緊急呼出訓練：防災組織員対象
  - ・避難訓練、安否確認訓練：全社員対象 等
- 4. 平日昼間、夜間・休日を想定した訓練を計画しているか

・教育

- 5. 地震発生、津波襲来想定時の避難場所が明確になっているか
- 6. 防災組織は周知されているか
- 7. 防災組織各役割者不在時の代行者は決まっているか
- 8. 地震対応関連の事業所マニュアルは周知・教育されているか

・記録

- 9. 教育訓練の実施を第三者から見ても分かるように記録・保存しているか